

がん化学療法指示書

登録番号 255

登録日 2023/10/12

レジメン名	T-DXd療法
診療科・対象疾患	・化学療法歴のあるHER2陽性あるいはHER2低発現の手術不能又は再発乳癌(標準的な治療が困難な場合に限る) ・がん化学療法後に増悪したHER2(ERBB2)遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
投与間隔	3週間
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
エンハーツ	トラスツマブ デルクステカン	5.4mg/kg	day1

治療内容	順下 剤 抗 癌	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール													
						day1										day21			
						Rp1	5%大塚糖液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●								
Rp2	グラニセトロン注(3mg/50mL)	1袋	15分	点滴静注メイン	●														
	デキサート注(6.6mg)	1瓶																	
	デキサート注(1.65mg)	2管																	
Rp3	5%大塚糖液	100mL	全開	フラッシュ用	●														
Rp4	5%大塚糖液	100mL	90分※	点滴静注メイン	●														
癌	エンハーツ(トラスツマブ デルクステカン)	5.4mg/kg																	
	注射用水(溶解用)	100mL																	
その他 必要薬剤																			
総投与時間	初回:2時間、2回目以降(忍容性良好の場合):1時間																		
血管外漏出 リスク	エンハーツ(トラスツマブ デルクステカン):炎症性抗がん剤																		
投与時の 注意事項	※エンハーツ(トラスツマブ デルクステカン)の投与速度は、初回投与は90分。忍容性が良好であれば2回目以降の投与速度は30分まで短縮できる ・0.2μmのインラインフィルター(ポリエーテルスルホン製又はポリスルホン製)を通して投与を行う。 ・生理食塩液との混合を避け、生理食塩液と同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。 ・点滴バックを遮光すること。(ルートは遮光不要) ・室温での調製及び投与はあわせて4時間以内に行うこと。																		
備考欄	・間質性肺疾患があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は、臨床症状(呼吸状態、咳及び発熱等の有無)を十分に観察し、定期的に動脈血酸素飽和度(SpO2)検査、胸部X線検査及び胸部CT検査を行うこと。 ・必要に応じて、血清マーカー(KL-6等)、動脈血酸素分圧(PaO2)、肺泡気動脈血酸素分圧較差(A-aDO2)、肺拡散能力(DLco)等の検査を行うこと。																		